

## 平成 28 年度香川県国民健康保険運営協議会 会議録

- 1 日時 平成 29 年 3 月 29 日（水）13：30～15：00
- 2 場所 香川県庁本館 12 階 大議室
- 3 委員の出席状況  
〔出席委員 7 名〕 藤井委員、久米川委員、安西委員、松尾委員、野上委員、久保委員、小島委員  
〔欠席委員 4 名〕 中山委員、星川委員、豊嶋委員、田中委員
- 4 事務局出席者  
健康福祉部：高木部長  
医務国保課：合田課長、長尾室長、白石室長補佐、中野副主幹、富田主任
- 5 傍聴者 1 名

### 6 議事内容

- (1) 会議の公開・非公開の決定について  
本協議会の会議の公開及び傍聴要領を決定した。
- (2) 各議題の審議等について

#### 議題 1 会長選出

会長に松尾委員を選出した。

#### 議題 2 国保運営協議会の位置付け、役割、審議事項

事務局から説明を行った。

##### 【主な意見、質疑等】

- ・ 香川県市町国保広域化等連携会議及び作業部会は、今回の法改正によってできたものか。それとも以前からあったものか。  
→ 広域化等連携会議は以前からあったものであるが、各作業部会は新制度の施行のために新たに立ち上げたもの。
- ・ 審議事項にある国保事業費納付金は、市町からの徴収ということになるのか？住民からの徴収は本協議会では問わないということか？  
→ 県の運営協議会の審議事項となっているのは、市町から県への納付金の徴収の関係である。その際、算定方法等も考慮いただくことになる。市町村に引き続き設置される国保運営協議会では保険料の徴収について議論していただくようになる。

#### 議題 3 国民健康保険の現状及び制度改革の概要

事務局から説明を行った。

##### 【主な意見、質疑等】

- ・ これからの目標、目的等について、どういう状態を目指すのが県の考え方になるのか？また、どのくらいの期間で対応を考えていくのか。  
→ 国民健康保険制度というのが持続可能なものとなっていくことが大事なことだと考えている。負担を分かち合い、財政を維持していくことが重要であり、医療費の適正化や事務の効率化を迫及していくことにより財政の改善に貢献できると考えている。期間は

次の骨子案でもあるが、6年間の期間を考えており、この期間で行うことを運営方針でまとめたいと考えている。

#### **議題4 国保運営方針（骨子案）**

事務局から説明を行った。

##### **【主な意見、質疑等】**

- ・ 香川県の収支の状況というのは、他の自治体に比べてどうか？
  - 医療費の面で言えば、一人当たり医療費は、年齢構成の調整はしていない数字での比較となるが、全国で3位であり、多い方である。
- ・ 保健事業の方策、方針等について
  - 主役は市町だと思うが、県として支援していくことも重要だと考えており、国保運営方針の骨子案において、ある程度の方向性を定めることとしている。
- ・ 香川県の一人当たり医療費が高いことは、悪いことのように言われるが、香川県は非常に医療に恵まれており、医療機関が多く、医療のシステムが整っていると言える。
- ・ 平成27年度の医療費が高い伸びを示しているのは、高額な医薬品が原因であるのか？
  - 詳細な分析はできていないが、そのように考えられる。
- ・ ジェネリック医薬品があまり伸びていないところがあるので、国民健康保険としても周知をしていくべきだと思う。

→ 国保運営方針骨子（案）について、承認された。

#### **議題5 今後の進め方**

事務局から説明を行った。

##### **【主な意見、質疑等】**

- ・ 1年の中でかなり大きな作業になる。
- ・ 住民の方への十分な説明が必要である。